

国道51号 神宮橋 橋脚の損傷に関する調査検討委員会

設立趣意書

平成25年8月7日
国土交通省
関東地方整備局
常陸河川国道事務所

神宮橋は、国道51号（旧道）の北浦に架かる橋長950mの単純PCプレテンT桁橋（76連）からなる道路橋で、昭和35年に供用したものである。

神宮橋は、東日本大震災後の緊急点検において、損傷は確認されたが、緊急対応すべき損傷ではなかった。しかし、平成25年1月の定期点検において、橋脚に新たなひび割れと緊急点検で確認した損傷の一部に進行が確認された。

神宮橋は、1日1万5千台の交通が通過し、鹿行地域の交通を支える重要な橋梁であるため、供用安全性をはじめその適切な管理は、道路管理者としての重要な責務である。

これらの背景を踏まえて「国道51号 神宮橋 橋脚の損傷に関する調査検討委員会」を設置し、損傷の原因と今後の検討方針、並びにこれらを踏まえた補修・補強及び更新等の今後の方策等について、専門的立場から指導・助言を頂くものである。

以 上